

十勝地域の概要



北海道農政事務所
帯広地域拠点

第1 地域の概況

- ◇位置：北海道の中心よりやや南東部に位置し、北に大雪山系と西に日高山脈、南と東が太平洋に面し、北海道随一の農業地帯として知られる十勝平野が広がる。
- ◇気候：太平洋岸を除き、大陸性気候であることが特徴で、夏は、海岸部では海霧が立ちこめ日中の気温があまり上がらないが、内陸部は比較的高温が続く。冬は、大陸性寒冷高気圧により低温が続くが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく、晴天の日が続く地域となっている。
- ◇空の玄関「とちかち帯広空港」をはじめ、充実した道路網、太平洋岸の広尾町に物流基地として整備された十勝港があることなどから、北海道東部の社会・経済・文化の中心として重要な役割を果たしている。また、十勝という地名は、域内を流れる十勝川をさすアイヌ語「トカプチ」に由来する。



◇てんさいの生産量は、道内（全国）全体の4割超。砂糖の原料となる。



てんさいの収穫 後ろは日高山脈

◇ばれいしょの生産量は、道内全体の4割超。用途は、生食用、ポテトチップ用などの加工用、でん粉原料用に区分される。



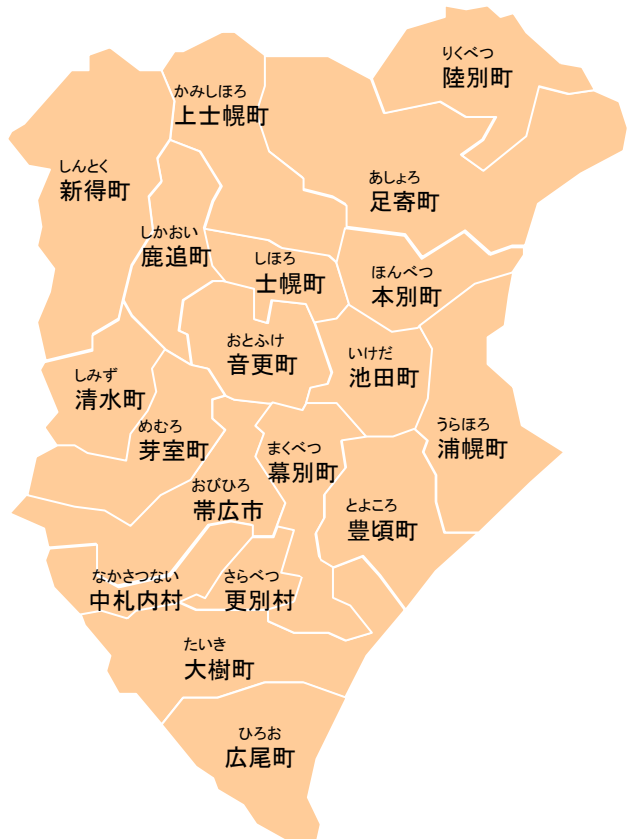
コンテナに積み込まれたメークイン

◇乳用牛の飼養頭数は、全国の18%。



日本一広いナイタイ高原牧場(上士幌町)

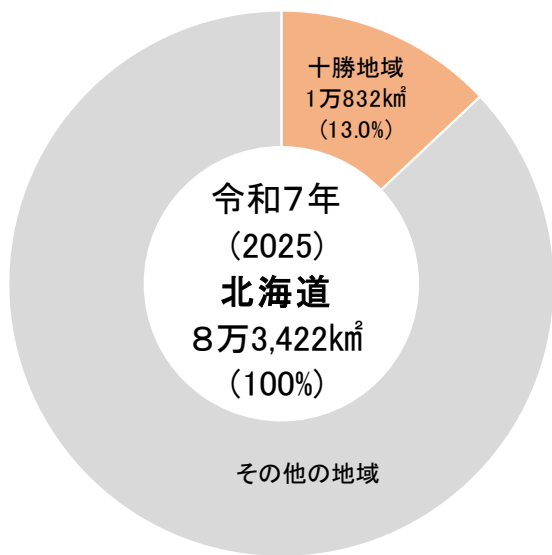
19市町村（1市16町2村）



第1 地域の概況(つづき)

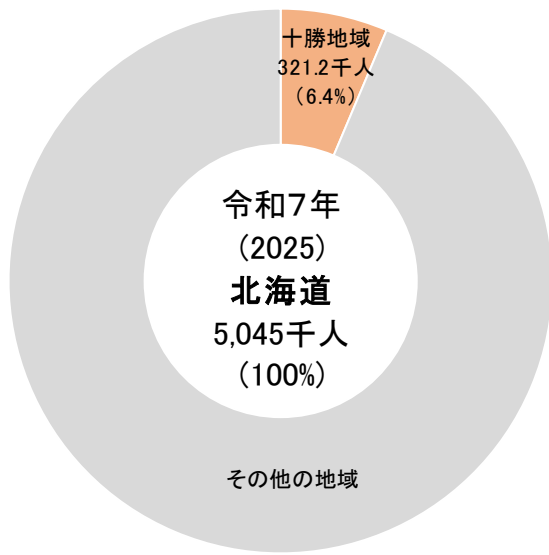
- ◇総土地面積は1万832km²で、北海道の13%を占め、秋田県や岐阜県とほぼ同じ。
- ◇総人口は32万1千人で、北海道の6.4%を占め、そのうち帯広市、音更町、幕別町、芽室町の周辺4市町で24万7千人となっており76.7%を占めている。

総土地面積



資料:国土交通省国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(令和7年7月1日時点)」
注:四捨五入のため、計と内訳が一致しない場合がある。(以下同じ。)

人口割合



資料:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和7年1月1日現在)」

第2 農業の概要

- ◇肥沃で広大な耕地に、小麦、てんさい、ばれいしょ、豆类(大豆、小豆、いんげん)の畑作4品による輪作やながいも、えだまめなどの野菜を大型機械で栽培する日本有数の畑作地帯である。
- ◇乳用牛・肉用牛の飼養頭数は全道一を誇っており、日本の食料基地として重要な役割を担っている。
- ◇野菜は、ながいもやだいこんなどの根菜類をはじめ、スイートコーンや葉物など多種多様な品目が生産されている。主要品目であるながいもを筆頭に、えだまめ、にんにくなどが海外へ輸出されている。



小麦の収穫作業



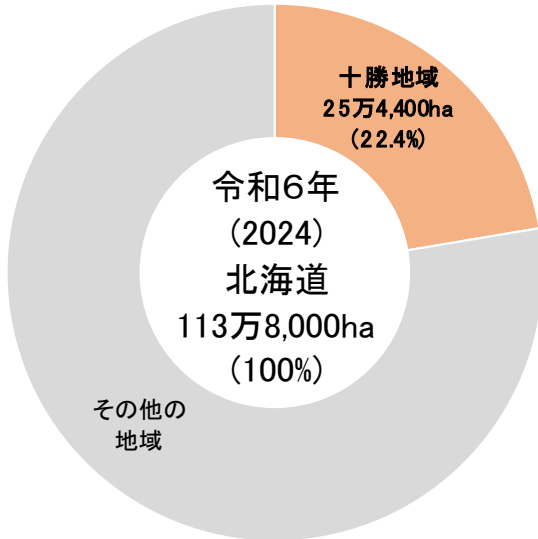
冷凍加工用えだまめの収穫作業

1 農業構造の状況

耕地面積

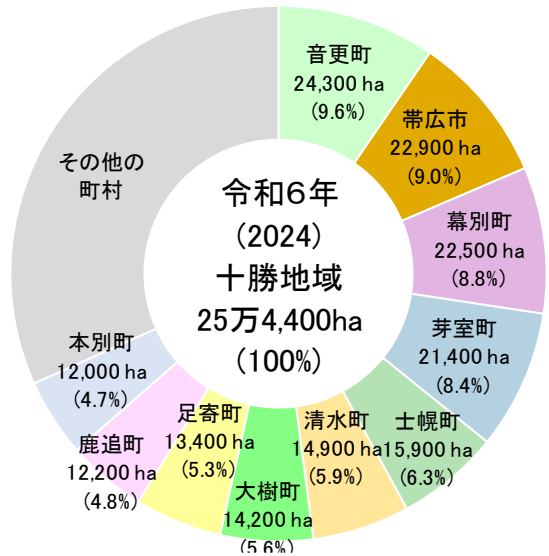
- 耕地面積は25万4,400haで、北海道の22.4%を占めている。
- 市町村別の耕地面積は、大きい順から音更町、帯広市、幕別町となっており、音更町は道内市町村の中で4番目に大きい。
- 主要農作物の作付面積割合は、小麦43.6%、ばれいしょ21.7%、てんさい21.0%、大豆12.6%の順となっている。

耕地面積の割合



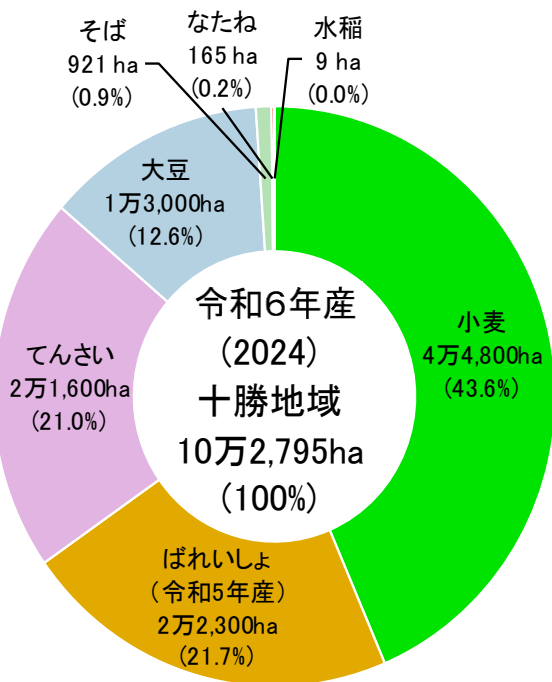
資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の耕地面積割合



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

主要農作物の作付面積割合



オフセットポテトハーベスターでの収穫作業



小豆の収穫作業

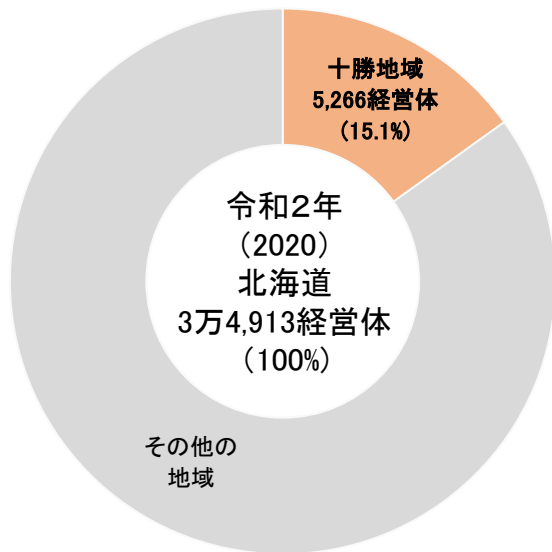
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

注：ばれいしょは、令和5年産の値である。

農業経営体

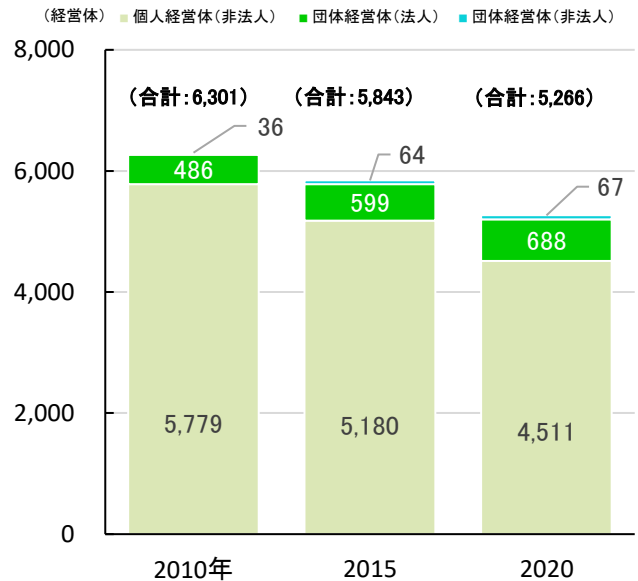
- ・農業経営体数は5,266経営体で、北海道の15.1%を占めている。
- ・農業経営体数は、2010年（6,301経営体）から10年間で1,035経営体（16.4%）減少。一方、団体経営体数（非法人688経営体及び法人67経営体）は、233経営体（44.6%）増加している。
- ・農産物販売額金額1位の部門別経営体数の割合は、雑穀・いも類・豆類（36.2%）、酪農（22.2%）、麦類作（12.6%）の順となっている。
- ・個人経営体における年齢別農業従事者数は、59歳以下が54.8%となっている。

農業経営体数の割合



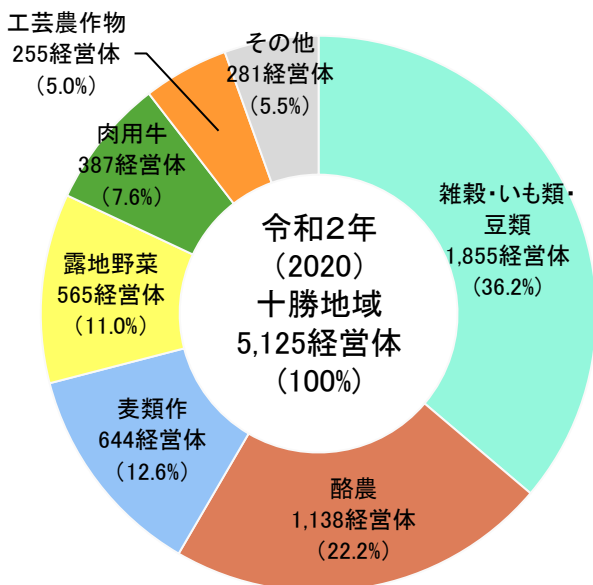
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業経営体数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農産物販売額1位の部門別経営体数割合

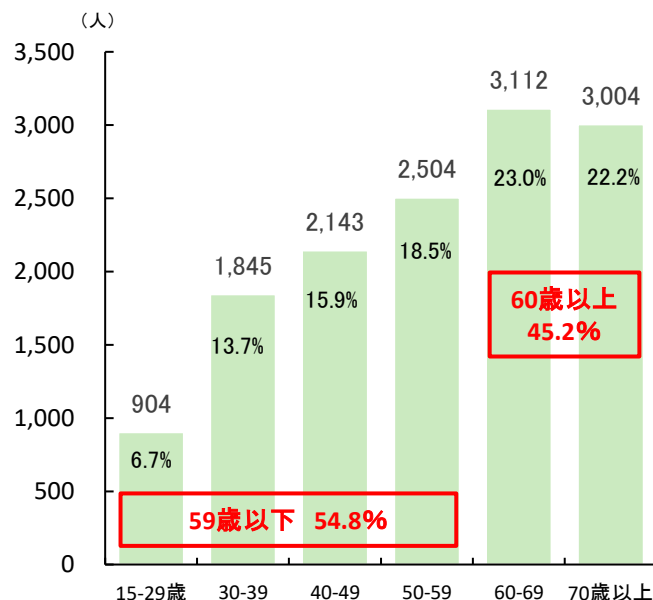


資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

注：その他は、稲作、施設野菜、果樹類、花き・花木、その他の作物、養豚、養鶏、その他の畜産の合計値である

年齢別農業従事者数(個人経営体)

* 令和2(2020)年 農業従事者数 計13,512人



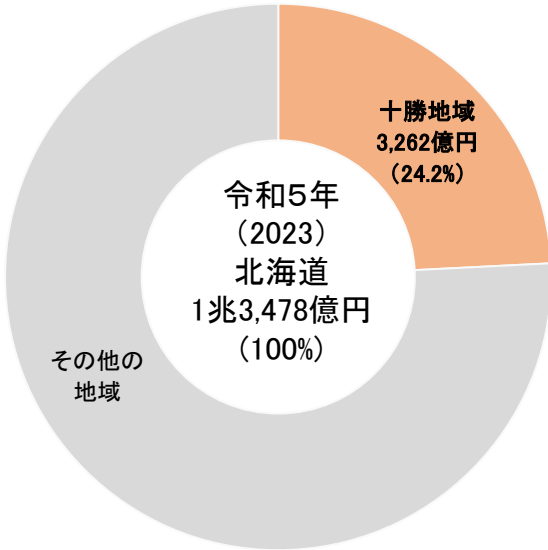
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業産出額

- 農業産出額は3,262億円で、北海道の24.2%を占めている。
- 品目別農業産出額では、乳用牛と肉用牛で約6割を占めている。
- 農業産出額の多い市町村は、幕別町（道内3位）、清水町（同4位）、帯広市（同5位）、士幌町（同6位）、芽室町（同8位）、音更町（同11位）の順となっている。

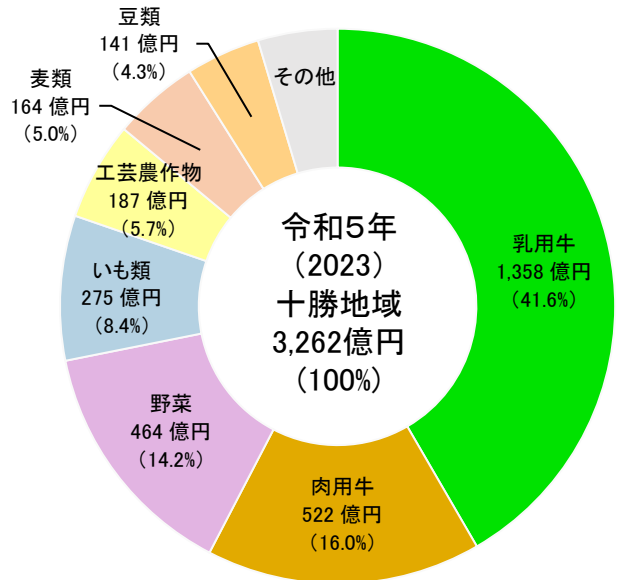
※「市町村別農業産出額(推計)」は、都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分したものである。

農業産出額の割合



資料：農林水産省「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額(推計)」

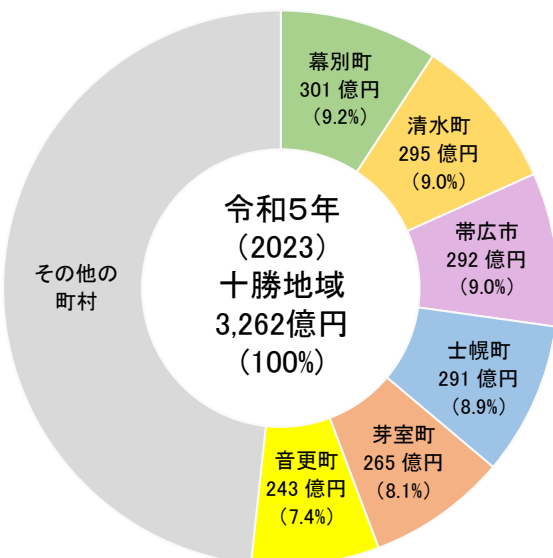
品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

注：その他には、米、雑穀、果実、花き、その他作物、豚、鶏、その他畜産物が含まれている。

市町村別の農業産出額割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」



デントコーンの収穫作業



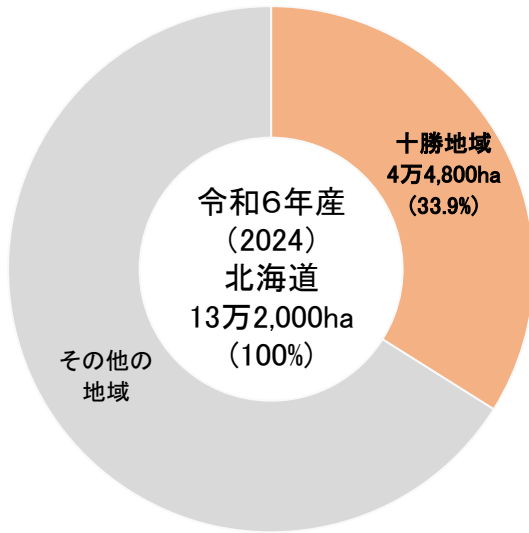
長いもの生育の様子

2 主要農畜産物の生産等の状況

小麦

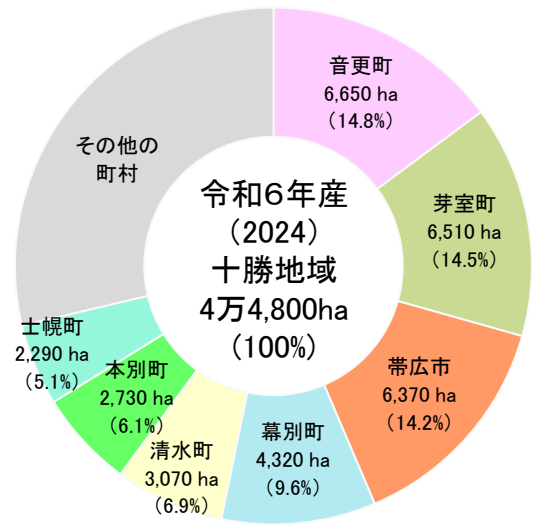
- 令和6年産の作付面積は、秋まき、春まき合わせて4万4,800haで、北海道の33.9%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順から音更町（道内1位）、芽室町（同2位）、帯広市（同3位）となっている。
- 収穫量は28万2,000 t で、北海道の39.5%を占めている。
- 秋まき小麦の作付面積は4万3,700haで、前年産に比べて200ha増加したが、10a当たり収量は29kg低下したことから、収穫量は27万7,700 t となり1万1,200 t 減少した。

作付面積の割合



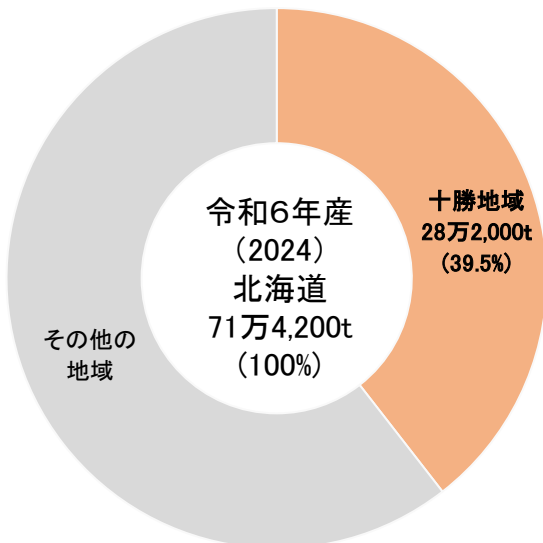
資料：農林水産省統計部「作物統計」、農林水産関係市町村別統計

市町村別の作付面積割合



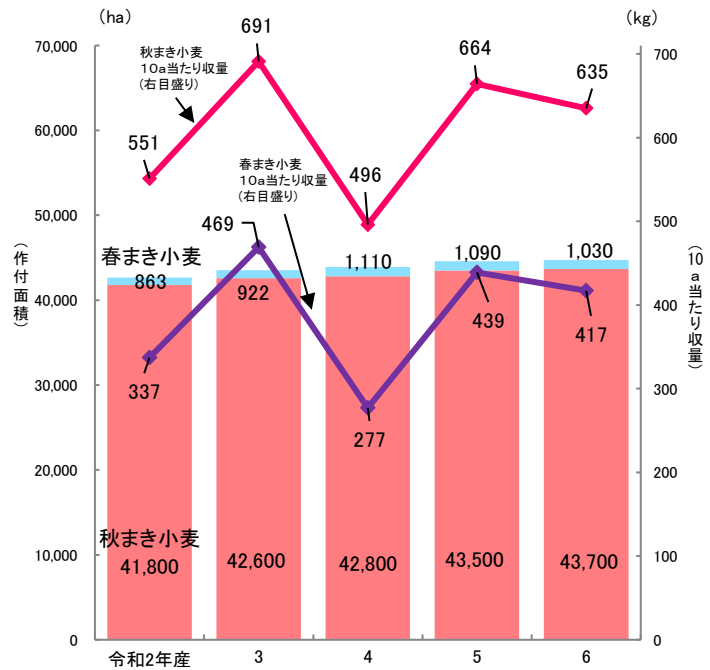
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、農林水産関係市町村別統計

作付面積・10a当たり収量の推移

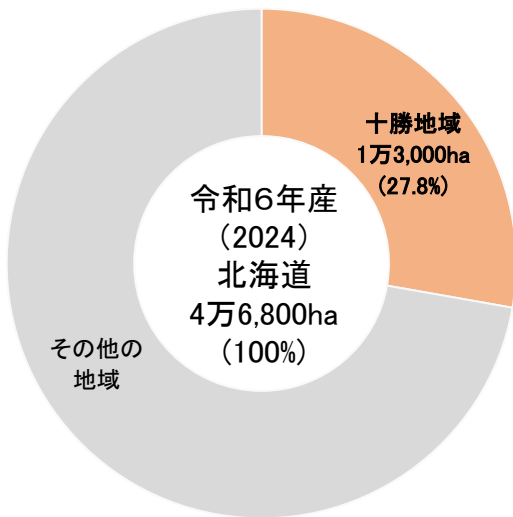


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

大豆

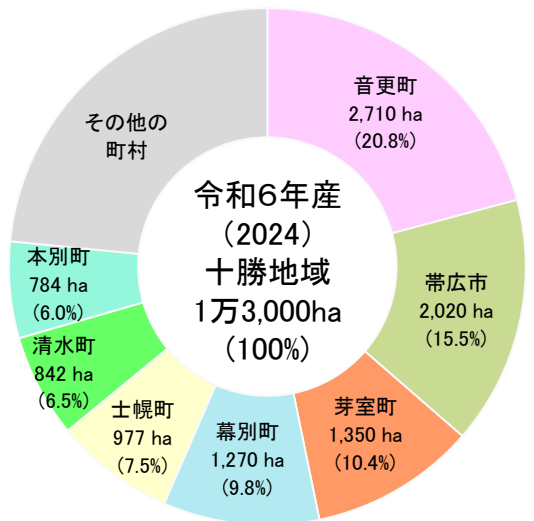
- 令和6年産の作付面積は1万3,000haで、北海道の27.8%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順から音更町（道内1位）、帯広市（同5位）、芽室町（同6位）となっている。
- 収穫量は4万1,100 t で、北海道の31.0%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて800ha増加し、10a当たり収量が17kg上昇したことから、収穫量は前年産に比べて4,700 t 増加した。

作付面積の割合



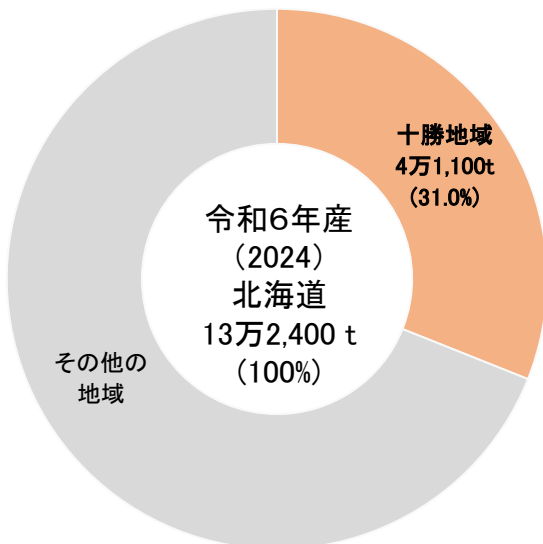
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



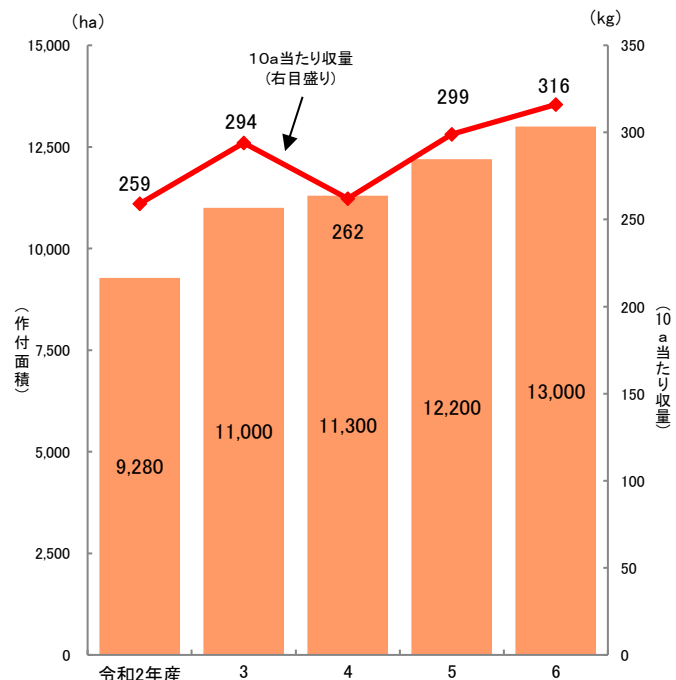
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

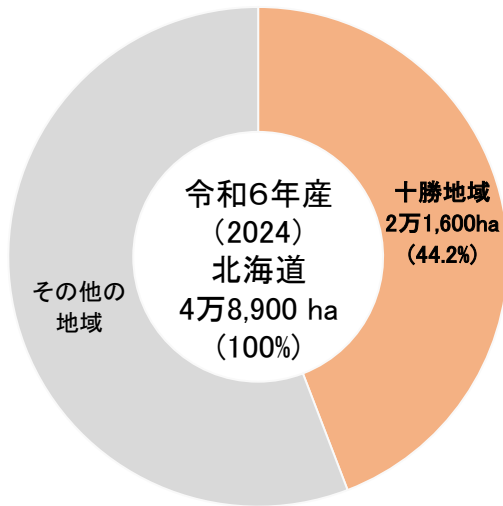


資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

てんさい

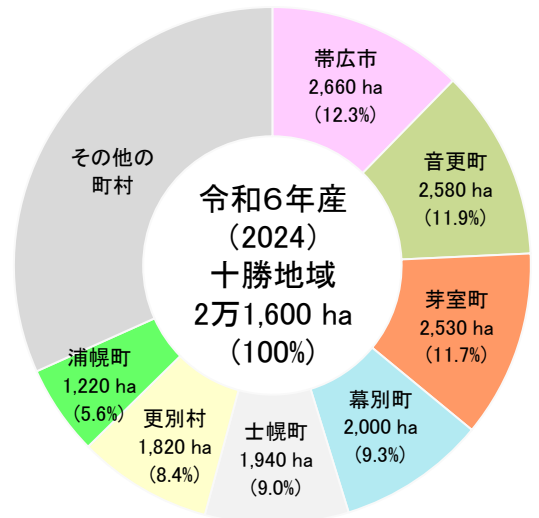
- 令和6年産の作付面積は2万1,600haで、北海道の44.2%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順から帯広市（道内3位）、音更町（同5位）、芽室町（同6位）となっている。
- 収穫量は158万6,000 t で、北海道の45.5%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて1,000ha減少したが、10a当たり収量は570kg上昇したことから、収穫量は5万1,000 t 増加した。

作付面積の割合



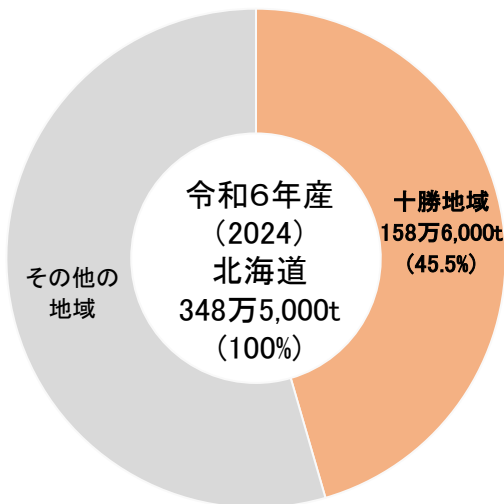
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



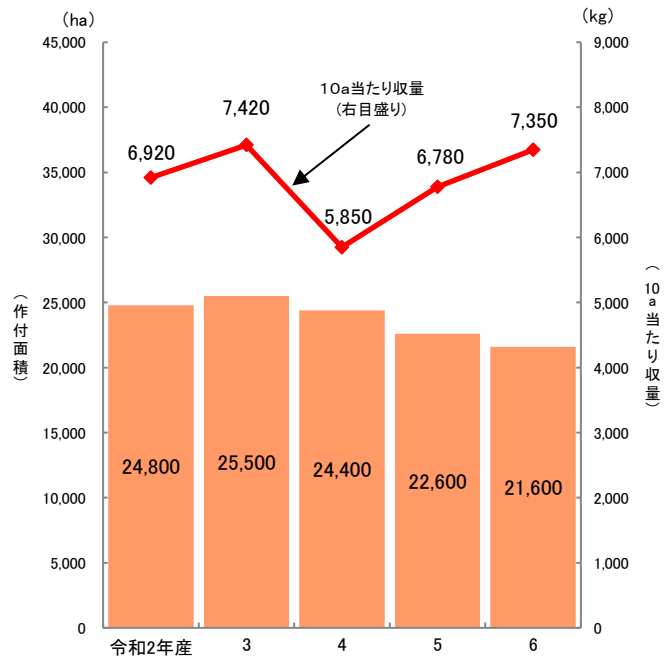
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

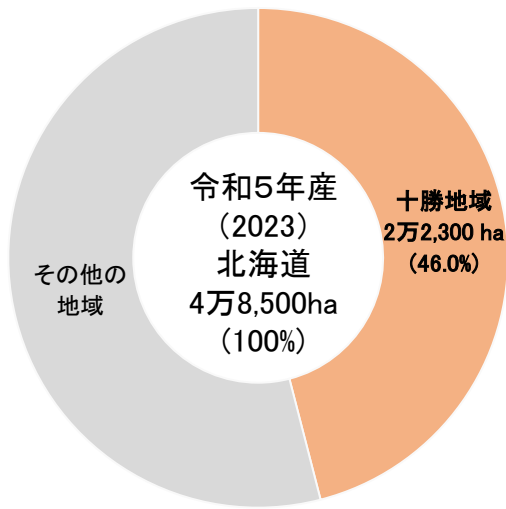


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

ばれいしょ

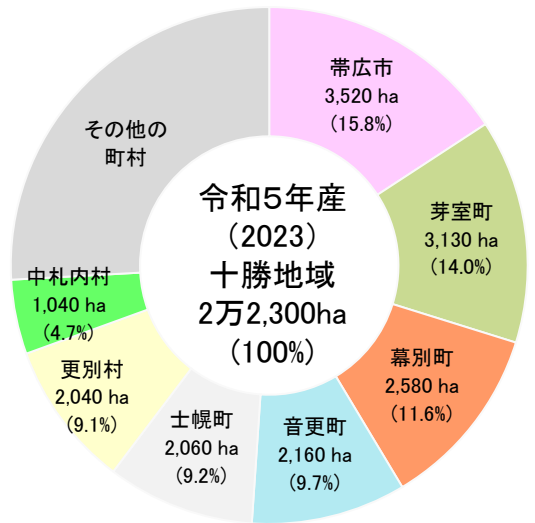
- 令和5年産の作付面積は2万2,300haで、北海道の46.0%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順から帯広市（道内1位）、芽室町（同2位）、幕別町（同3位）となっている。
- 収穫量は88万9,700 tで、北海道の46.4%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて100ha増加し、10a当たり収量が520kg上昇したことから、収穫量は前年産に比べて11万8,100 t 増加した。

作付面積の割合



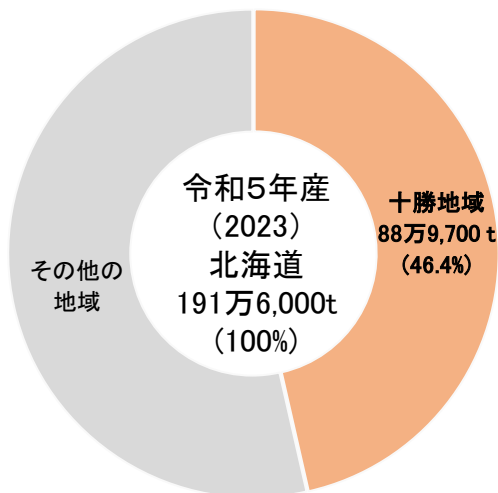
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



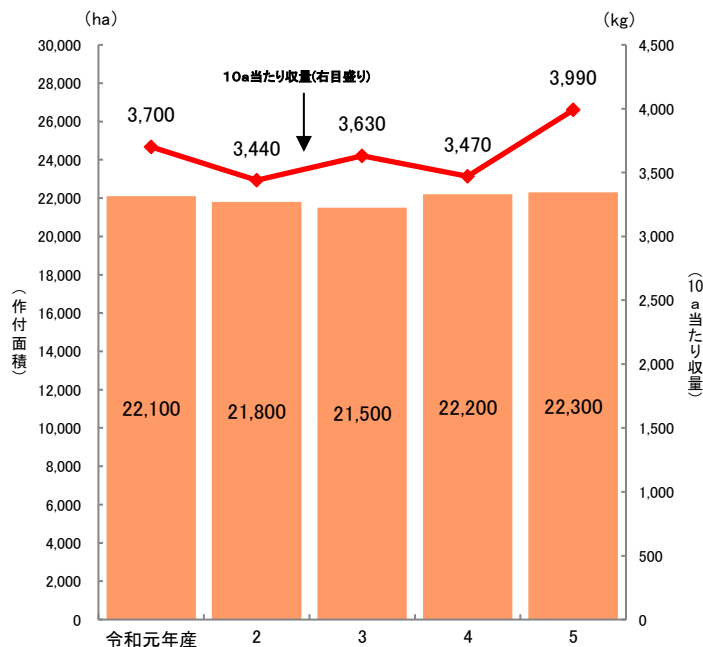
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移



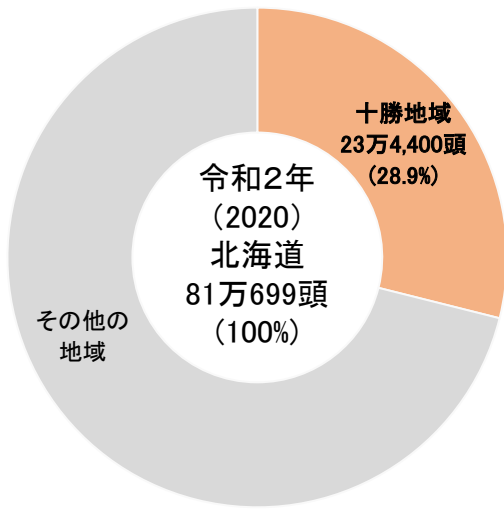
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

乳用牛

- 令和2年2月1日現在の飼養頭数は23万4,400頭で、北海道の28.9%を占めている。
- 市町村別の飼養頭数は、清水町、大樹町、上士幌町、鹿追町、士幌町の順となっている。
- 牧草専用地の面積は6万7,057haで、北海道の16.1%を占めている。
- 1経営体当たり飼養頭数※の推移は、112.3頭（2005年センサス）、145.1頭（2010年センサス）、160.8頭（2015年センサス）、195.3頭（2020年センサス）で、飼養規模の拡大が進んでいる。

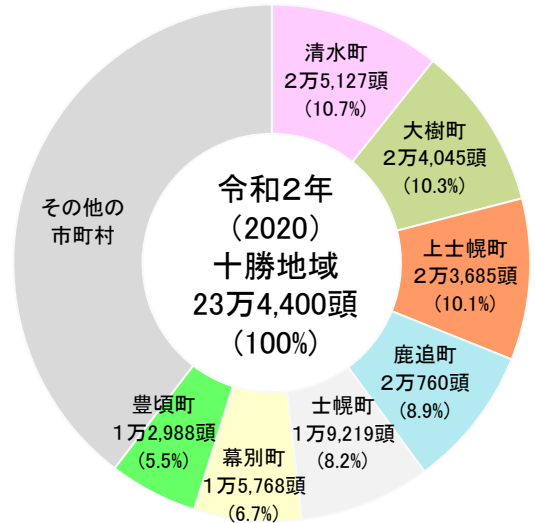
※1経営体当たり飼養頭数は、農林業センサスの乳用牛飼養経営体数と飼養頭数により算出している。

飼養頭数の割合



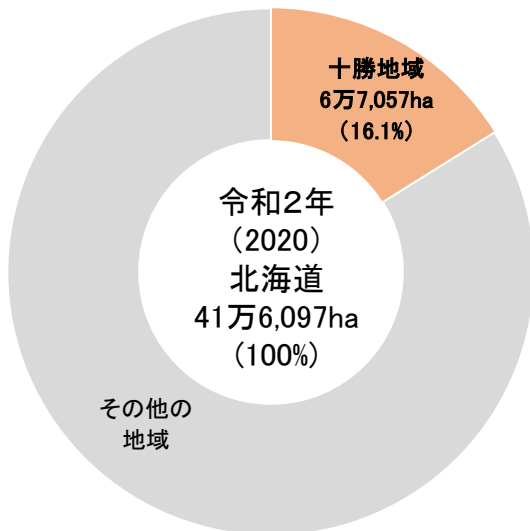
資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

市町村別の飼養頭数割合



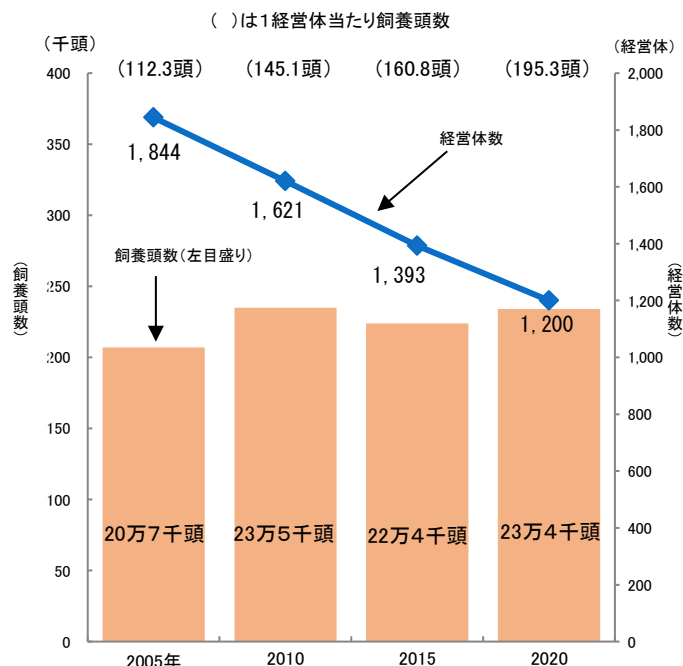
資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

牧草専用地の割合



資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

飼養頭数・飼養経営体数の推移



資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

第3 地域の取組

1 スマート農業

最新技術の積極的な導入で生産者の負担を軽減



【ロボットトラクターとの協調作業】
(音更町 株式会社三浦農場)

十勝管内では、経営規模拡大を進めるに当たり課題となる労働力不足の解消や作業効率の向上を図ること等により生産者の負担を軽減させるため、「ロボットトラクターとの協調作業」や「自動収穫機」等のAI、IoTやロボット等の情報通信技術を活用したスマート農業が普及しています。

また、生産者とJA等の関係機関、研究機関や民間企業の技術者が一体となって、「スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画等」の認定による実証試験や生産現場のニーズに応える技術開発、活用に向けた動きが活発に行われています。



【自動収穫機によるキャベツの収穫】
(JA鹿追町)



【ブロッコリー選別自動収穫機の公開実証試験】(JA木野)

2 有機農業

環境にも人にも優しい、持続可能な農業を実践



有機食材100%の給食
「まくべつオーガニック給食」
(幕別町)

みどりの食料システム戦略において、化学農薬や化学肥料の使用量低減、有機農業の取組面積割合の拡大を目指し、より持続性の高い農法への転換を進めていくこととされています。

十勝地域では、「環境にも人にも優しい農業」、「健康で幸せに生きている持続的な農業を確立」等をテーマに有機農業に取り組んでいる生産者が活躍しています。

また、食育の一環として、地域で生産された有機農産物を使用した学校給食の提供も行われています。



宮地牧場(清水町)



株式会社
SAWAYAMA FARM
(清水町)



小笠原農園
(幕別町)



3 輸出の取組

安全で安心できる十勝の農産物を世界に供給

十勝地域は、広大な耕地を活用した大規模農業を展開していることから生産される農作物の量が多く、豊作による販売価格の低下や規格外品の増加等で生産者の収入が減少することを懸念し、農産物の選果場や加工処理施設の整備を進め、長いもや枝豆等の農作物、にんにく等を原料とした加工品等の輸出を展開しています。



十勝川西長いも運営協議会
【十勝川西長いも】

商品の安全性の向上と品質管理を徹底するため、HACCP認証を取得した長いも選果場で洗浄、選別、箱詰等の作業を行い、主に米国、台湾へ輸出。



JA中札内村【枝豆】

食品安全管理の国際規格「FSSC22000認証」を取得した農産加工処理施設で選別、袋詰等の作業を行い、主に米国、豪州等へ輸出、



JA十勝清水町【にんにく】

黒にんにく、醤油等に加工し、主に台湾、シンガポール等に輸出。

4 六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業

生産から醸造まで一貫した十勝初のオーガニックワイン
- 十勝ぶどう園株式会社（音更町） -



【オーガニック栽培のぶどう】

十勝ぶどう園株式会社は、美味しく安心・安全なオーガニックワインを製造するため、自社栽培したオーガニックぶどうを使用し、令和7年4月に落成した「十勝が丘ワイナリー（加工食品の有機JAS認証取得済み）」で一貫した醸造を行っています。

十勝初のオーガニックワインの製造・販売と、音更町の豊富な資源である十勝川温泉やチーズ等による観光客の誘致等により、音更町や十勝地域の活性化が期待されます。



【十勝が丘ワイナリーの外観】



【発酵室の設備】



【ワインを熟成させるミズナラ樽】

5 地理的表示(GI)保護制度

「十勝川西長いも」、「十勝ラクレット」に続き、
「十勝若牛」が十勝地域から3品目のGI登録



【十勝川西長いも】
(十勝川西長いも運営協議会)

「地理的表示保護制度」は、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する製品の名称を、地域の知的財産として保護する制度で、十勝地域では、「十勝川西長いも」(平成28年10月)、「十勝ラクレット」(令和5年3月)に続き、令和7年3月、「十勝若牛」がGI登録されました。

新しく登録された「十勝若牛」は、赤身の旨みがピークとなる若齢肥育を行い、品質的にも経済的にも最も効率的な独自の肥育技術による生産方法を確立。ヘルシーな赤身肉として需要者からの引き合いも強く、一般的なホルスタイン種の牛肉と比較して高値で取引されています。



【十勝ラクレット】(十勝品質の会)



【十勝若牛】(JA十勝清水町)



6 バイオマス産業都市

カーボンニュートラルの実現に向けた取組



【バイオ液肥散布車】

十勝管内全19市町村は、「バイオマス産業都市」(平成25年)に選定され、管内に58基のバイオガスプラントが建設されています(十勝バイオマス産業都市構想(令和7年2月改訂)より)。

鹿追町では、ゼロカーボンの町づくりとして、令和4年5月に「しかおい水素ファーム」が稼働を始め、バイオガスから水素を製造する日本初の取組が行われています。



【鹿追町公用車:水素燃料電池車】



【バイオガスプラント全景】

7 農福連携

北海道初、地元産野菜「shika vege (シカベジ) 鹿追町」で「ノウフクJAS」を取得



【ノウフクJASとshika vegeのシールが貼られた出荷前の商品】



【利用者による農作業の様子】

鹿追町では、町が管理している水耕栽培ハウス（バイオガスプラントで生成された余剰熱を活用し通年栽培）を令和5年度から障がい者の働く場所として提供。障がい者が携わった商品が地域に認知されることで、「障がいがあっても地域で働きながら暮らせる環境作り、障がい者自身の働きがいや働きやすさ、障がい者が地域で暮らしていることの理解が深まる」との考えのもと、ブランド化を進めている地元産野菜「shika vege (シカベジ)」に、障がい者の雇用創出の場を加え、令和6年3月「shika vege (シカベジ) 鹿追町」として「ノウフクJAS」認証を取得しました。

農作業は、「NPO法人地域共同作業所もみじ工房」の就労継続支援B型事業所の利用者が従事し、は種から収穫まで全ての工程に携わり、ミニトマトや葉物野菜など10種類以上を栽培し、収穫した作物の包装に「ノウフクJAS」と「shika vege」のシールを貼り、十勝管内の道の駅やスーパーで販売されています。

8 新規就農

本別町で農業を始めたい人を応援～第三者継承の取組～

本別町が取り組む農業体験・新規就農の支援体制

農業体験者・農業研修生への支援		
<p>農業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験・研修旅費補助 旅費の1/2補助 (上限5万円) 	<p>農業研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 営農実習補助 月額15万円 家賃補助 家賃の1/2補助 (上限1万円) 	<p>新規就農支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業経営開始 年額200万円 固定資産税補助
<p>受入農業者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体験・研修指導費 (受入日数毎に支給単価を設定) 営農指導費 (月額10万円支給) 	

十勝地域は営農規模を拡大したい生産者が多く、新規参入が難しい地域ですが、本別町では営農指導対策協議会の中に「本別町農業担い手育成センター」を立ち上げ、新規就農の支援体制を整備し、経営移譲を希望する農業者と就農希望者のマッチングを行い、第三者継承による新規参入が実現しています。

「本別町農業担い手育成センター」では、新規就農フェアへブースを出展して就農希望者への情報発信、認知度の向上を行っています。

また、農業体験と農業研修の受入れ農家には、営農と教育の両立に当たり、リスクと経済的負担が生じるため、体験・研修指導費や営農指導費を町予算で措置し、支援しています。

第三者継承の実現には、当事者間の相性に加え、マッチングのタイミングも大きな影響を与えるため、関係する機関との情報共有を適宜実施し、本別町で農業を始めたい人を応援しています。



【「本別町」ホームページより】

市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア	道内 シェア	計	道内 シェア	田	道内 シェア	畑	道内 シェア	人	道内 シェア	戸	道内 シェア	経営体	道内 シェア
	km ²	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
十勝地域	10,832	13.0	254,400	22.4	761	0.3	253,700	27.7	321,232	6.4	171,492	6.1	5,266	16.9
帯広市	619	0.7	22,900	2.0	-	-	22,900	2.5	160,810	3.2	90,252	3.2	613	2.0
音更町	466	0.6	24,300	2.1	373	0.2	23,900	2.6	42,683	0.8	20,981	0.7	668	2.1
士幌町	259	0.3	15,900	1.4	-	-	15,900	1.7	5,690	0.1	2,737	0.1	348	1.1
上士幌町	694	0.8	11,100	1.0	-	-	11,100	1.2	4,758	0.1	2,587	0.1	159	0.5
鹿追町	403	0.5	12,200	1.1	-	-	12,200	1.3	4,928	0.1	2,460	0.1	221	0.7
新得町	1,064	1.3	6,540	0.6	0	0.0	6,540	0.7	5,503	0.1	3,294	0.1	108	0.3
清水町	402	0.5	14,900	1.3	-	-	14,900	1.6	8,755	0.2	4,657	0.2	335	1.1
芽室町	514	0.6	21,400	1.9	-	-	21,400	2.3	17,773	0.4	8,033	0.3	546	1.8
中札内村	293	0.4	7,110	0.6	-	-	7,110	0.8	3,823	0.1	1,917	0.1	144	0.5
更別村	177	0.2	11,500	1.0	-	-	11,500	1.3	3,084	0.1	1,362	0.0	221	0.7
大樹町	816	1.0	14,200	1.2	-	-	14,200	1.5	5,266	0.1	2,805	0.1	160	0.5
広尾町	596	0.7	6,190	0.5	-	-	6,190	0.7	5,880	0.1	3,123	0.1	92	0.3
幕別町	478	0.6	22,500	2.0	31	0.0	22,500	2.5	25,269	0.5	12,671	0.5	514	1.6
池田町	372	0.4	9,510	0.8	339	0.2	9,170	1.0	5,906	0.1	3,213	0.1	227	0.7
豊頃町	537	0.6	11,500	1.0	-	-	11,500	1.3	2,878	0.1	1,463	0.1	169	0.5
本別町	392	0.5	12,000	1.1	18	0.0	12,000	1.3	6,046	0.1	3,328	0.1	245	0.8
足寄町	1,408	1.7	13,400	1.2	-	-	13,400	1.5	5,952	0.1	3,198	0.1	220	0.7
陸別町	609	0.7	6,060	0.5	-	-	6,060	0.7	2,120	0.0	1,248	0.0	72	0.2
浦幌町	730	0.9	11,300	1.0	-	-	11,300	1.2	4,108	0.1	2,163	0.1	204	0.7

資料：国土交通省国土地理院「令和7年全国都道府市区町村別面積調（令和7年7月1日）」
 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計（令和6年）」、「2020年農林業センサス」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和7年1月1日）」
 注：ラウンドの関係で、計と内訳は一致しない場合がある。

市町村別の農業産出額(推計)

市町村:1,000万円

市町村	農業産出額		耕 種										畜 産							
	道内順位	小計	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	工芸農作物	その他農作物	小計	肉用牛	乳用牛		豚	鶏	その他畜産物			
													道内順位	生乳						
十勝地域																				
帯広市	2,920	5	2,112	2	-	235	0	193	414	991	241	2	808	33	275	479	440	45	2	7
音更町	2,431	11	1,539	7	0	248	1	242	259	550	232	0	892	28	187	550	494	x	106	x
士幌町	2,908	6	768	20	-	87	0	93	267	160	158	2	2,141	5	1,003	1,099	989	0	-	39
上士幌町	2,177	13	237	79	-	23	0	31	85	43	45	8	1,941	6	564	1,292	1,145	x	-	x
鹿追町	2,041	14	401	47	-	64	2	52	113	96	68	7	1,640	9	329	1,238	1,128	48	2	23
新得町	1,111	40	120	102	0	19	6	19	18	42	12	3	991	24	463	527	477	0	0	1
清水町	2,950	4	439	41	-	101	2	74	91	76	90	6	2,511	3	764	1,585	1,467	71	75	16
芽室町	2,653	8	1,953	3	-	233	1	152	386	953	221	7	699	39	338	338	309	19	0	5
中札内村	1,252	32	505	31	-	35	0	28	148	189	102	2	747	36	6	397	356	x	154	x
更別村	1,083	46	751	21	-	80	0	94	273	123	174	3	332	69	49	277	246	-	2	4
大樹町	1,668	19	162	92	-	24	2	18	40	35	37	7	1,506	12	118	1,384	1,247	x	-	x
広尾町	752	64	44	127	-	1	-	0	6	3	16	x	708	38	60	644	576	-	-	3
幕別町	3,012	3	1,778	5	0	173	1	118	294	997	180	15	1,234	17	192	933	848	4	-	105
池田町	770	63	429	42	0	81	0	66	40	155	60	20	341	68	139	191	178	x	-	x
豊頃町	1,341	29	336	58	-	48	0	83	120	44	33	x	1,005	23	115	736	660	152	-	2
本別町	1,010	51	350	55	-	85	0	87	76	23	74	0	660	42	142	480	404	0	-	38
足寄町	976	53	166	91	-	29	0	24	28	43	27	x	810	32	208	573	515	-	-	29
陸別町	511	86	14	145	-	6	-	-	0	0	2	6	497	53	33	460	422	-	-	4
浦幌町	1,054	48	412	46	-	64	1	38	97	113	96	x	643	43	235	404	372	-	-	4

資料：農林水産省統計部「令和5年市町村別農業産出額（推計）」

注1：「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものである。

注2：その他農作物は、果実、花き及びその他作物の計であり、秘匿措置が講じられている品目を除いて単純に合算したものである。

注3：道内順位の順位付けは、原数（100万円）により判定したものである。